



認定

No.2010

細見工業株式会社
高いノウハウとチャレンジ精神が展示品の輝きを生み出す
美術館・博物館用展示ケース

認定品名 美術館・博物館用展示ケース

美術館・博物館用展示ケースは、展示品の見やすさだけではなく、気密性や防犯性、耐震性、使い勝手の良さなどさまざまな点に配慮して作られる。顧客の要求と機能性の双方を満たす展示ケースを製造するために、時には新たな技術の開発を行い、試行錯誤を繰り返すことも必要とされる。細見工業（株）の美術館・博物館用展示ケースは、長い経験と蓄積されたノウハウから生み出される、プロとしてのこだわりのある傑作である。全国各地の有名美術館・博物館に納入した実績が多いことから、その実力は折り紙付きであるといえよう。

profile

細見工業 株式会社

所在地：葛飾区小菅1-11-20

電話番号：03-3838-2121

代表：細見大作

業種：金属加工業（美術館等展示ケース設計製造等）

従業者数：20名

ホームページURL：<http://www.hosomi-kogyo.co.jp/>



精力的でアイディアマンの細見社長



■全国各地の有名美術館・博物館へ納入、高い評価を得ている展示ケース

美術館や博物館に行くと、展示品だけでなく展示ケースも鑑賞する人はほとんどいない。展示ケースは、鑑賞するものではなく、展示品を鑑賞しやすいよう引き立たせる役割を果たしている。美術館・博物館用展示ケースを製造する細見工業の細見大作社長(37歳)は「私はケースというハード(モノ)ではなく、ソフト(こころ)を売る楽しい仕事だと考えています。お客様から言われたままにただ作る仕事ではなく、弊社の持つノウハウを提供する仕事なのです」。

細見工業は、さまざまな有名博物館・美術館用の展示ケースを手がけてきた。大手のディスプレイ会社他、美術館や博物館の芸員と直接打ち合わせをして進める仕事もある。どんな設計にするのかを決めるまでがひと苦労で、担当者の要求を聞いた上で、専門的な立場から提案するが、この段階で担当者とはぶつかり合うことも少なくないという。「その仕様にするのと展示自体が損なわれる」という場合には、その点をアドバイスさせていただきま。来場者の方が満足して鑑賞していただけるようなものにするのが私たちの仕事ですから」。

■展示ケースの高度な要求に独自設計で対応

展示ケースにはさまざまなタイプのものがあり、使用されている素材も、木や金属、ガラスなどさまざま。「いろいろなものを扱いますので、それぞれに対する知識や加工技術が必要です。」(細見社長)。

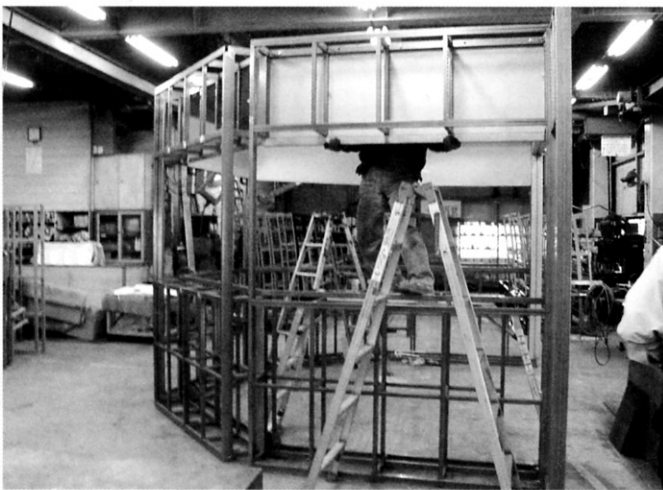
過去には「観賞を損ねないよう、ケースの目地の部分など、余計な部分の線ができるだけ出ないような作りをして欲しい」とか、「全長15mの巻物を広げて展示したい。気密性や展示替えのしやすさにも配慮したケースにして欲しい」といった難しい要望があったそう。しかし、デザインを実現するには種々の機能的な問題もある。ケースの強度も要求されるほか、展示品の品質を損なわないための温度と湿度の管理、セキュリティの機能、使い勝手のよさにも配慮が必要となってくる。デザイナーの要求を満たし、かつ様々な条件を満たす展示ケースを製作するため、独自の設計をし、試行錯誤をして解決してきた。既存の技術では解決できない課題が生じたとき、新しい技術を生み出して解決するのが細見工業のやり方である。

■「技術的にチャレンジしがいのある面白い仕事が多い」文化施設関連の仕事

細見工業は、社長の父である先代社長が葛飾区白鳥で50年ほど前に創業した会社である。現社長は、大手ディスプレイ会社での修行を経て、平成7年に入社し、平成14年に弱冠31歳にして、先代を引き継ぎ社長に就任した。展示ケースの仕事について、細見社長は、「美術館等の展示ケースのほか、展示会用ディスプレイや店舗什器の仕事もしています。展示ケースを含む文化施設関連の仕事は、他に比べ金銭面で割に合わない部分があるにありません。ただ、技術的にチャレンジしがいのある面白い仕事が多いのです。会社全体として技術的スキルを向上させる重要な役割を果たして

いるのです」という。「みんなのやりたいことをやれる会社でしょう」というのが経営方針です。弊社の希望は、大きな会社へと発展することではなく、ものづくりとして納得のいくものを作りたいということに尽きます。ものづくりとして納得のいく仕事ができれば、何よりもよい社員教育となると考えています」。

社長も若い人が、社員にも若い人が多い。「1人前になるのには10年は必要。長い目で育てていきたい。そしてさらにその先は、社内の組織化を図り、組織として協力し合うような会社にしていきたいと考えています」(細見社長)。若く、チャレンジ精神あふれる社長と細見工業の今後を、期待して見守っていききたい。



展示会ディスプレイを現場搬入する前に、不都合な点がないかどうかチェックするため工場内で仮組みしているところ